「駅前にカンカン館復活しては」

○駅前駐車場の利用状況
○浄水場給水率
○国道拡幅による迂回道路について

菊地　洋議員

質問　駅周辺の現状をみると改修整備の必要性を感じる。降りて、歩いてみたくなる駅前整備のためには、現在の駐車場が大きなウエイトを占める。駐車場の利用状況はどうなっているか。

総務課長　駐車場は82区画で定期利用が50区画、一般等が32区画となっている。定期利用は満杯である。

質問　駐車場等の土地利用について今後、何か考えはあるか。

駅前の広場としては、特色ある町づくりに大いに活用できるのではないかと考えている。今後検討する。

質問　震災から休止しているカンカン館事業の復活について、どのように考えているか。

産業課長　カンカン館については建物取壊しの関係から現在地での事業継続はできない状況である。再開を望む声もあるので、関係団体と協議検討したい。

質問　駅前の一等地である駐車場にカンカン館を復活させ、町活性化を図ってはどうか。

町長　そうした考えも取り入れながら、駅に降りてみたい、降りたならば歩いてみたいという町づくりに向かって計画づくりを進めたいと考えている。

質問　町内の上水道について、未給水地域があるが、今後どのような計画があるのか。

上下水道課長　現在第5次拡張計画を推進しているが、震災被害を受けた施設を耐震化する必要がある。限られた財源の中で未給水地域対応は難しいが、将来的には全地域給水を目指すこととしている。

質問　国道拡幅で中央分離帯が設置されるが、右折できない箇所について迂回道路等の新設等は考えているのか。

都市建設課長　拡幅計画の中で迂回用の回転路が計画されている。

質問　国道が拡幅されても地域住民が不便になっては困る。迂回路や幹線への接続道路建設を計画すべきではないか。

町長　国道拡幅は渋滞緩和を目的に計画されている。東西の経路については副道もあるが、利便性の観点から今後も検討する。

拡幅工事が進む国道（地下歩道）

選挙管理委員会〝新〟委員決まる

鏡石町選挙管理委員会委員及び補充員の任期が平成24年12月20日で満了となるため、地方自治法の規定により選挙を行いました。

選挙は指名推薦で行われ、次の方が鏡石町選挙管理委員会の新委員及び補充員に選ばれました。

委員及び補充員の任期は4年になります。今回選ばれた委員の方は、今後4年間法に基づき実施される選挙を管理することになります。また、補充員の方は委員に欠員が生じた場合、委員となることになります。

鏡石町選挙管理委員会

○委員

西牧英二氏（鏡沼）
小板橋昭二氏（久来石）
渡邉俊廣氏（岡ノ内）
大河原八郎氏（東町）

○補充員

草野孝重氏（豊郷）
石井秀雄氏（高久田）
有我　忠氏（本町）
面川平六氏（中町）

「駅東開発、地権者との約束はどうか」

○駅東農地の税対策
○消防団員入団促進
○農地の除染について

大河原正雄議員

質問　駅東開発が計画から20年経過した。一部の区画道路整備しか進んでいないが、この間の経過と遅延の理由は何か。

都市建設課長　駅東開発計画は平成元年、第2次総合開発計画において決定され、平成12年に事業認可を受けましたが、財政的理由により平成18年に事業が見直しされた。平成23年には一部仮換地通知したが、3月に大震災が発生した。

質問　町発展のために宅地造成が必要だとの説明会が開かれ、関係地権者は協力を約束した。やっと工事は始まったが、地権者との約束をどう考えているのか。

都市建設課長　地権者の皆様には、大変申し訳ないと感じている。第1工区については、平成27年度完成を目指している。

質問　駅東開発区域は現況水田だが、固定資産税は宅地並み課税となっている。農地として課税できないか。

税務町民課長　課税は法律に基づくもので、市街化区域編入前には戻せないが、固定資産評価額は所要の補正を行い、引下げている。さらに、評価替えでも下落している状況である。

質問　駅東の進捗状況から事業は長期化している。区域編入前に戻せなければ、その分を町が負担してはどうか。

税務町民課長　負担する場合、その形式は補助金ということになるが、今後検討する。

質問　現在、町消防団員数は減少しているが、その対策はどう考えているか。

町長　団員勧誘について様々な検討を重ねているが、行政区長の協力も得るとともに、条例改正を行い、町内に勤務する方も入団できるようにした。今後とも団員確保に努める。

質問　消防団世帯への一部税の減免等、各種優遇策は考えられないか。

総務課長　消防団員等ボランティアされている皆さんを対象とした減免制度創設については、他県で類似制度を導入しているという例もあるので、今後の研究課題としたい。

質問　農地の除染について、深耕基準が30㎝なのか。あるいはカリ散布で線量低下するのか。

産業課長　反転工による除染は一定効果はあったが、その後の農作業に困難をきたした例もあった。カリ散布の効果は若干程度だが、希望者には進めたい。

24年度補正予算

震災復興関係等平成24年度一般会計補正予算の主なものは、次のとおりです。

事　業　内　容	補正予算額（単位：千円）
がんばるぞ鏡石震災復興基金積立 （県・ブランドイメージ回復支援市町村交付金）	４６，７２６
東日本大震災復興交付金積立	２２２，３３０
災害公営住宅関連児童ふれあい施設整備事業 （児童ふれあい施設設計業務委託等）	２６，５５０